

にいがた労福協

<ライフサポートセンター>

No 31 2017年 10月 20日 発行
一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2
Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891
(メール) ni-rfk@bz04.plala.or.jp
URL <http://www.niigataken-rofukukyo.com/>
発行責任者 間 英 輔

2017 にいがたワーク&ライフフォーラムin長岡 ～連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現に向けて～



人間らしく生き、働き、暮らすことのできる社会の再生をめざす取り組みが全国各地で芽生え広がっています。新潟県内においてもこれらの取り組みを持ち寄り、連帯・協同の力で安心・共生の福祉社会の実現に向け、ろうきん福祉財団と県労福協の連携した事業として、5回目となる2017年にいがたワーク&ライフフォーラムin長岡を地元中心の実行委員会形式で開催しました。

今回から1日開催とし、9月2日(土)長岡市で開催したフォーラムには350名

が参加しました。

午前の全体集会では、基調講演として「冒険から社会貢献へ」と題して、羽賀友信氏(NPO法人市民協働ネットワーク長岡代表理事)と高橋なんぐ氏(NAMARA)、から海外の体験を中心としたトークがあり、コーディネーターとして小野沢裕子氏(フリーアナウンサー)から、両者の共通点が整理されました。

羽賀さんからは、この間世界66カ国を訪問し、1980年カンボジア難民救援プロジェクト(現国際緊急援助隊)で、主任調査員として国境地帯で病院を運営した話とともに紛争地域で銃撃された経験が生々しく話されました。

また、高橋さんからは、2009年より約3年間にわたり海外生活で様々な就労体験や講演活動、世界一周の旅の経験が話されました。共通して話されたのは、①世界を知ることの意義、②自らを知る意義、③世界を知ることによって日常生活の中で無関心ではいけないこと、



関係ないと決めつけないこと。等の貴重なメッセージが参加者に発信されました。午後からの13セッションでは、県内や長岡市内で活躍されている13団体が主体となって取り組まれました。①「長岡の中山間地巡り半日ツアー」(特定非営利活動法人UNE)、②「子どもの貧困からみる真の「働き方改革」とは?」(特定非営利活動法人・女のスペース・ながおか)、③「長岡版まちづくり・



人材育成
と「秋山
孝まちな
かミュー
ジック」
見学』
(NPO
法人市民
協働ネッ
トワーク
長岡)、
④「子育
てについ
てパネル

ディスカッション」(NPO法人多世代交流館になニナ)、⑤「第21回柿川周辺清掃と歴史探訪の集い」(柿川に親しむ会)、⑥「機那サフラン酒本舗」見学」(機那サフラン酒本舗保存を願う会市民の会)、⑦「映画「風の波紋」にみる山里の自然と文化に生きる人の結」(「小林茂の仕事」0タスケ隊)、⑧「地域のコミュニティスペースとは?」(まちの駅森の仲間「千の森」)、⑨「支援を必要としている子どもの就労体験「ぶれじョブってなあに」」(ぶれじョブながおか)、⑩「社会の隙間で、暮らしをDIY!若者による、負の不動産活用」(ながおか若者しごと機構)、⑪「「もったいない」と地域を支えるフードバンク活動」(フードバンクにいがた)、⑫「家族で守ろう!日々の暮らしを」(新潟県労働金庫・総合生協)、⑬「知っておきたい「働き方改革」



の要点」(連合
新潟・新潟第一
法律事務所)、
⑬「ユネスコ無
形文化遺産「協
同組合」の価値
を探究するあら
ゆる協同組合が連
帯して育む「み
んなの経済」
」(にいがた

共同ネット)が、開催され全体で340名が参加しました。

交流会では、磯田長岡市長から連帯の挨拶を受け、218名が参加し、「食べ残しゼロ作戦!!」にチャレンジしながら、今回のフォーラムin長岡を契機に労働者福祉運動に携わる諸団体をはじめ、地域課題に取り組みNPOや市民活動団体、自治体との連携をはかり、相互に補完することで労働協働運動のネットワーク強化とウイングの拡大がさらに発展することを確認しながら、楽しいひと時を過ごしました。



第27回協働組合間提携研究集会

新潟県協同組合間提携研究集会が7月6日(木)、新潟市「朱鷺メッセ」において150名が参加する中で開催されました。

高橋提携推進協議会会長から、昨年11月、「協同組合において共通の利益を形にするという思想と実践」がユネスコの人類の無形文化遺産の代表的な一覧表に記載された、毎年7月の第一土曜日を国際共同組合デーと定め、1923年に第1回国際共同組合デーを定めてから95回目、新潟県では27回目となる。今後、協同組合間の一層の連携のもと、協同組合に対する世界的な期待と評価を十分に意識し誇りをもって組合員・地域住民のニーズに応え持続可能な地域社会を築いていく取り組みをさらに充実させる契機と挨拶がありました。

基調講演では、「現代社会と食卓とその背景」(食DRIVE調査に基づく朝食実態から)と題して、キューピー(株)2000Xファミリーデザイン室岩村暢子室長から、「さまざまな家庭の朝食実態から、今の家族、今の日本人の実態について考えてみたとき、家族の背景やそこに至る日本の歴史についての考察

について報告がされました。

実践報告では、①「私たちの活動を紹介します」生活協同組合コープにいがた・小林佳代組合員理事から、コープにいがたが取り組んでいる「地域の茶の間「わになくれ」の取り組み」報告、②「地域連帯で進める「食」と「農」の取り組み」JAえちご上越園芸畜産課 あるるんの杜 亦野潤一氏から、JAえちご上越が取り組んでいる直売所「あるるん畑」と地産地消型レストランを併設した「あるるんの杜」の役割について報告がされました。

最後に、県内の各地域、各職場、各分野において、安全・安心で心豊かなくらしと持続可能な地域づくりに向けた事業を展開し、協同組合運動に邁進するとして、「新潟CPCC宣言」を採択して閉会しました。



(講師団)

- | | | | |
|-------|----|------------------------------|---------|
| ◇第1講座 | 講師 | 中央労福協アドバイザー | 高橋 均 氏 |
| | 演題 | 「歴史から学ぶ労働者自主福祉運動の理念とこれからの役割」 | |
| ◇第2講座 | 講師 | 日本女子大学名誉教授 | 高木 郁郎 氏 |
| | 演題 | 「連帯経済の担い手としての労働者自主福祉活動」 | |
| ◇第3講座 | 講師 | 労働金庫常務理事 | 大津 岳 氏 |
| | 演題 | 「労働金庫運動の基本方向と課題へ」 | |
| | 講師 | 総合生協常務執行役員 | 佐藤 浩 氏 |
| | 演題 | 「全労済運動の基本方向と課題」 | |
| ◇第4講座 | 講師 | まちづくり学校理事 | 金子 洋二 氏 |
| | 演題 | 「NPO活動、地域づくりの現状と労福協との連携」 | |
| | 講師 | 新潟地区労福協 事務局次長 | 細野 弘康 氏 |
| | 演題 | 「子ども食堂の取組」 | |
| ◇第5講座 | 講師 | 中央労福協アドバイザー | 山本 幸司 氏 |
| | 演題 | 「ビジネスユニオニズムからソーシャルユニオニズムへ」 | |

第5期 にいがた福祉リーダー塾 人材育成とネットワーク 強化をめざし26名が参加



7月14日(金)・15日(土)、新潟市万代シルバーホテルにおいて社会情勢の変化の中で新たな時代に対応する人材育成をめざした第5期にいがた福祉リーダー塾が開設されました。このまで70名ほどの働く仲間が卒業し職場でご活躍されていることと思います。

今回は、初めて団体として参加した「ささえあい生協新潟」のメンバーを加え、連合、労金、総合生協、全港湾、ワーカーズコープから26名の塾生が参加しました。専務理事の主催者あいさつ・山田塾長によるオリエンテーションでスタートし、2日間の日程で5つの講座の受講とグループミーティングによるリーダー

塾の未来的な意義について理解を深めました。

今回から、これまでの前期・後期、各々1泊2日の開催方式から前後期のカリキュラム内容を圧縮し、1回の開催で完結する座学中心の基礎講座と体験型、交流型の講座に分けた開催となりました。

最初は緊張した面持ちも終了間際には、雰囲気打ち解け充実したリーダー塾となりました。

なお、9月30日に開催した体験・交流型の実践講座「未来塾」は、運営委員会のメンバーを軸に開催され、詳細活動について本機関紙6ページに報告しています。



夢咲Clubの案内

夢咲Clubは労金に加入していない勤労者の方々が、労金を利用する際に加入いただくメンバーズクラブです。

預金、給与振込、公共料金自動振替をはじめ、住宅ローン、マイカーローン、教育ローンなど、各種ローンのご利用ができます。

- <ご加入資格> 県内に居住または勤務する勤労者等
- <ご入会手続き> 最寄りの労金本支店で手続きできます。



労金関係業務(育成会・夢咲Club)運営事務局 新潟県労働金庫内

連絡先 Tel 025(201)8765

E-mail: yumesaki@n-yume.jp

新潟県総合生活協同組合第63回通常総代会



8月17日(木)、ANAクラウンプラザホテル新潟にて、新潟県総合生活協第63回通常総代会が、167名の総代(組合員)が参加し開催されました。小野塚理事長から総合生協が「成長への足掛かりの年・正念場の年」と位置づけ取り組んできた、組織課題と経営課題を中心に挨拶がされました。

を受け継ぐ唯一の生活協同組合として誕生し、今まで以上に組合員の願いを実現する生協へと進化を進めること。

2つは、共済事業について、全労済統合を見据え、全労済側と「統合課題検討会議」を開催し、真摯な討論を通じて信頼関係を築くことができた。全労済が60周年を迎える年に、47都道府県の最後に新潟が全労済統合に向け具体的な協議に入ったことは、何か因縁めいたものを感じ、全労済統合を大きな節目として、更に「新潟品質」に磨きをかけ「さすが新潟」と評価されるよう攻めの推進活動を展開する。これからの未来に向かって「不易流行」の精神を貫くとの力強い挨拶がありました。

その後、全ての議案が満場一致で確認され、役員の改選では、小野塚理事長、山口専務理事再選され、新たに理事・監事12名が選出されました。

理事会を代表して、小野塚理事長から待ったなしの全労済との組織統合やコープクルコの取り組み強化など、大きな課題を抱えているが役員一丸となってチャレンジしていく力強い決意が表明され総代会は閉会となりました。

第4回 地方労福協会議

9月21日(木)・22日(金)、大阪キャッスルホテル(大阪市)において第4回地方労福協会議が開催されました。



「2017生活底上げ・福祉強化キャンペーン」の取り組みを中心議題とした意思統一の会議であり、全国共通した課題の推進として、①労働者自主福祉事業の利用促進と共助拡大、②生活・就労支援の強化と各種支援制度の充実、③奨学金制度のさらなる改善と教育費負担の軽減の、具体的な取り組みが提案されました。

また、第63回定時総会および2018～2019年度活動方針について意見交換がなされました。

<新潟ろうきん福祉財団では…>

「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現をめざし、以下、8つの事業を行っています

- NPO等助成事業 ●地域社会創造助成事業 ●大学生奨学金給付・貸与事業
- 高校生奨学金給付事業 ●文化講演会等開催事業 ●調査研究事業
- 県民の福祉向上に関する事業(ワーク&ライフフォーラム、セミナー等)
- ライフプランセミナー等開催事業(福祉リーダー塾、セミナー等)

〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2 勤労福祉会館内
一般財団法人 新潟ろうきん福祉財団

中央労福協主催 第6回LSC実務者・相談員研修の開催 ～コーディネーターのスキルアップをめざし～



10月3日(火)・4日(水)の2日間、中央労福協主催の第6回LSC実務者・相談員研修が「ホテルベルクラシック東京」で開催されました。

この研修は、東京・大阪の2カ所で開催され、新潟県労福協からは、東京会場に事務局と地区労福協からの3名が参加しました。研修内容は、LSC事業にとって相談件数の多い課題や相談員からのリクエストを軸に、さまざまな領域におよぶ講演や事例検討など実践的な研修となりました。

日頃、多岐にわたり複雑な相

談を受けているコーディネーターにとって、今年度から取り入れたグループ単位での経験交流とディスカッションもあり、他県の活動に学ぶことも含め有意義な研修となりました。

(1日目)

◇「法律・税金問題への対応」

弁護士 石川浩一郎氏

◇「メンタルヘルスについて」

精神保健福祉士 荻田 尚晴氏

◇「認知症と予防」

アリアミュージックオフィス代表 堀口 直子氏

(2日目)

◇「消費者問題の現状課題」

消費生活コンサルタント 勝又 長生氏

◇「経験交流・ディスカッション」

参加者(3名)

県労福協(間専務理事・小野塚 事務局長・ながおかLSC・丸山コーディネーター)

東部ブロック労福協 第213回幹事会 および代表者会議

東部ブロック労福協第213回幹事会と2017年度代表者会議が、7月18日にワークピア横浜において開催されました。



幹事会では、今年度の事業団体責任者会議、ライフサポート事業経験交流等の運営、第52回定期総会、次年度の福祉リーダー塾の運営などについて確認しました。

2017年度代表者会議では、労働者福祉運動「2020年ビジョン」の検証と今後の活動について」と題して、高橋均氏(中央労福協アドバイザー)から、「2020年ビジョンを振り返り、今後3年間を考えるにあたり、2020年ビジョンができた経過と目的を改めて考える」を副題に講演がありました。

2日目の交流会は、米国海軍横須賀基地と海上自衛隊横須賀基地を視察しました。

宴会

2017-2018

2017年11月17日(金)～
2018年4月13日(金) 12:30～17:30

※おひとり様代金 ※1泊2食付き 大人4名以上1室利用の場合 税別

8,000円～15,500円

総合生活グループ
コープ・トラベルセンター
株式会社 コープサービス

新潟営業所
〒950-0086 新潟市中央区花園2-1-6
☎025-245-8589

長岡営業所
〒940-0036 長岡市愛宕3-7-24
☎0258-39-7730

<http://www.niigata-travel.coop>

コープ・トラベルセンター 検索

にいがた福祉リーダー塾・未来塾 ～行ってみよう！見てみよう！NPO訪問ツアーin中越～の開催

長岡市のアオーレ長岡・国営越後丘陵公園里山を会場にして、9月30日(土)ににいがた福祉リーダー塾の卒塾生を対象に、フォローアップ研修とネットワーク強化をめざし、「未来塾」が開催され19名の卒塾生が参加しました。

地域の多様な組織と連携し、勤労者の福祉向上をめざした広域な活動ができる将来のリーダーを育成することを目的に2013年度から始まった「にいがた福祉リーダー塾」は95名の卒塾生を輩出しています。

昨年から自分の思いを持ち寄り労働者自主福祉運動の未来を語る機会がほしい、また、未来を語る講師を迎え新たな勉強がしたい



卒塾生同士で未来を語り合いネットワークを広げたいとの思いを持つ卒塾生たちの期待に応えるべく、今回は卒塾生が企画した「行ってみよう！見てみよう！NPO訪問ツアーin中越」の開催となりました。

当日は、「未来塾運営委員会」根立委員長の挨拶と趣旨説明を受け、①NPO法人市民協働ネットワーク長岡の高橋さんより、中越地域のNPOの現状と市民共同ネットワークの概要の説明、②NPO法人ふるさと未来創造堂の中野夫妻より「バッククッキング体験と防災クイズ」、③NPO法人越の里山倶楽部が取り組む「ホトケドジョウ」の生物調査、④N



O法人地域循環ネットワークの金子博さんより、「わりばしリサイクル活動」の説明など盛りだくさんの学習を行いました。

最後は、「地域を食べる」をテーマに商品企画開発製造・販売を行う(株)FARM8から今話題の酒粕を使用したディップや長岡野菜のサラダなど体にやさしい料理を、当日の活動を癒すアルコールとともに堪能しました。

今後も、「未来塾運営委員会」を中心に、企画の段階からより多くの卒塾生から参加いただける活動を検討していくこととしています。

労福協東部ブロック 「2017年度ライフサポート事業経験交流会」

9月15日(金)・16日(土)、東部ブロック労福協主催のライフサポートセンター(以下、LSC)事業経験交流会が埼玉県全通会館あけぼのビルにて開催されました。交流会には、1都10県から32名が参加し、新潟労福協からは、県・ながおか・佐渡・柏崎LSCのコーディネーター等、5名が参加しました。

労働金庫から生活資金や住宅資金を借り入れる際の保証人となる
勤労者のための信用保証機関です。

【保証引受の実績】 (2017年8月末現在)

保証引受の内容	保証引受残高 (千円)
無担保ローン	57,575,089
有担保ローン	133,139,576
合 計	190,714,665

一般財団法人新潟県労働者信用基金協

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地18

1日目の交流内容は、『「暮らしと心の総合相談」から見える労働者福祉の課題』をテーマに、「井口鈴子(夜明けの会代表・司法書士)」から平成9年に司法書士10名が世話人となって、クレサラの金利問題を考える連絡会が発足した経過や現在も暮らしと心の相談が増加にあること、傾聴が重要であること等、事例を交え講演がありました。その後、各県よりLSCの特徴的事例や懸案事項の報告がありました。

2日目は、「よりよいホットライン埼玉の活動について」をテーマに、「猪俣正(弁護士)」から、東日本大震災後と原発事故後にさいたまスーパーアリーナ等に避難

してきた皆さんに震災支援の幅広い連携で全国に先駆けて活動を開始した経過や現状の厳しい実態報告がありました。また、「埼玉奨学金問題ネットワークへの相談事例」をテーマに、「鴨田譲(弁護士)」から、日本学生支援機構の奨学金は、サラ金より厳しい取り立てを行っている現状や問題点が報告され、奨学金制度の無償貸与の重要性の報告がありました。

こうした講演や各県LSCの事例をふまえ意見交換や解決に向けた取り組み等、意義ある交流会となりました。



韓国総連盟ソウル特別市地域本部 第14回代表団来日

新潟の皆さん！ アンニハセヨ 안녕하세요 (こんにちは)



9月12日(火)～16日(土)、韓国総連盟ソウル特別市地域本部の第14回代表団5名が来日されました。今回は、タクシー、金属、地下鉄、郵政、電力(病院)関係労組の5名の代表団が来日されました。

連合新潟・労福協との意見交換会では、両国の社会情勢や労働者を取りまく状況及び新潟県労働者福祉協議会が取り組んでいる福祉関係の事

業について訪日団から質問がありました。連合を中心とした組織労働者が、労働組合員以外の勤労者まで福祉活動を進めている現状に関心を示し、自国に帰ってソウル特別市地域本部においても福祉事業を検討していきたいとの表明があり、有意義な意見交換がされました。

政府間レベルでは、領土問題など複雑な課題もありますが、格差と貧困の課題を克服するためにも国境を越えた労働組合の国際連帯が重要となっています。今後交流内容の充実を図りながら、「近くて、近い国」となるようお互いをさらに理解し合い、絆をより強いものにしていきたいと願っています。

東部ブロック労福協 2017年度事業団体責任者会議の開催

9月5日(火)、東部ブロック労福協2017年度事業団体責任者会議が新潟県糸魚川市・ホテル國富で開催されました。

払い状況は、被災家屋37棟(全焼30棟・半焼2棟・一部焼5棟) 共済金支払額7億1138万円(2017年2月9日現在)でした。

新潟県からは、連合新潟・新潟労金・総合生協・労福協の代表者が参加しました。会議の開催前に、昨年12月22日に発生した糸魚川大火(被災家屋147棟(全焼120棟・半焼5棟・一部焼22棟)の現地視察を行い、現地ガイドの方から当時の説明を受け改めて火災の恐ろしさを認識するとともに、火災に備える共済の重要性を再認識しました。

なお、新潟総合生協の共済支

会議は、中央労福協、連合関東ブロック代表の挨拶後、事業団体からそれぞれ置かれている組織の現状と課題について報告されました。意見交換のテーマを「各事業団体の課題と労福協に期待すること」として、中央労福協が掲げる「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現に向けて」をベースにし、貧困や多重債務・消費者被害の根絶など、社会連帯を深める運動やライフサポートをはじめとした暮らしの総合支援の取り組み支援などとの関わり、また、労働者福祉運動の基

盤強化に向けた利用促進・共助拡大の取り組みの視点を踏まえて、現在事業団体が積極的に推進しようとしている課題や克服しなくてはならない問題などを明らかにするとともに、各都県労福協や東部ブロックへの要望・期待などについて意見交換しました。



中央労福協2017年度 事業団体・地方労福協合同会議

7月25(火)・26日(水) ホテル JALシティ田町(東京)において、2017年度事業団体・地方労福協合同会議が開催され、77名の事業団体・各県労福協の役員が全国から参加されました。

この事業団体・地方労福協合同会議は、年に1回開催され、中央労福協の取り組み、各事業団体の取り組みおよび各ブロック労福協の取組を共有化し、本年9月開催の地方労福協会議および11月開催の総会に向けた活動につなげていくことを目的に開催されました。開会にあたり、黒河副会長から次の点について挨拶されました。

①中央労福協は、各省庁(財務省・文部科学省・厚生労働省)、政党(民進党・公明党・社民党、自民党は意見交換)に対して協同組合支援、給付型奨学金の財源確保、教育分野の公財政の支出の引き上げ、生活困窮者支援制度の予算確保など重点的に要請を行ってきた。

②加盟労働団体に対して「労働者自主福祉運動」の推進に向けた要請を行ってきた。特に大会議案書への方針化を要請し、方針化はしているが労福協の取り組みをどのように表現すればよいか悩んでいるなど率直な意見交換を行ってきた。

③私たちの取り組みにより、初めて給付型奨学金制度が成立した。しかし、対象者や給付額はあまりに少なく、今後充実した制度となるよう付帯決議を足掛かりとして、その内容を確実に実行していくことがこれからの課題である。

その後、特別報告として「労働金庫が取り組む多重債務対策について」安藤栄二氏(労金協会常務理事)と「持続可能な開発目標と協同組合の役割と期待」をテーマとして、前田健喜氏(IYC記念全国協議会事務局長、JC総研協同組合研究部長・主任研究員)による記念講演がありました。

意見交換では、「2017生活底上げ・福祉強化キャンペーンおよび「奨学金制度改善第4ステージ」の取り組み素案を論議して、9月に開催する地方労福協会議で、方針を確認・全体共有をはかることを確認し終了しました。

東部ブロック労福協 第11期(後半) 福祉リーダー塾

労働者福祉の新たな創造をめざし、7月7日(金)・8日(土)にかけて、東部ブロック労福協第11期(後半)福祉リーダー塾が静岡県三島市で開催されました。

前半に引き続き新潟県労福協からは東條事務局長、細野弘康(新潟地区労福協)、嘉村真人(新潟労金)、瀬賀研(総合生協)の4名が参加しました。

3つの講座を受講後、翌日は5グループに分散し、小論文の提出のために今後の労働組合に求められるものや労福協運動・協同組合活動との連携について議論しました。

今回は10月27日(金)にフォローアップ研修および修了式に向け小論文の作成にとりかかることを確認し終了しました。

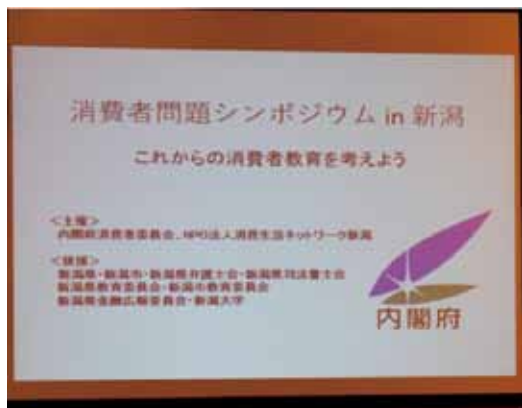


- ◆第1講座「労働組合・労福協とNPOの連携と協同」
講師 山岸 秀雄 氏
(法政大学名誉教授 NPOサポートセンター理事長)
- ◆第2講座「共益と公益、今、労働組合と協同組合に求められる労働者福祉運動の課題」
講師 池本 修悟 氏
(ユニバーサル志縁社会創造センター専務理事)
- ◆第3講座「ビジネスユニオニズムからソーシャルユニオニズムへ」～働くことを軸とする安心社会の実現に向けて～
講師 山本 幸司 氏
(中央労福協・アドバイザー)

基調講演では、河上内閣府消費者委員会委員等から「消費者委員会の活動と消費者教育をテーマに講演が行われ、その後、パネルディスカッションが行われ、①青山人閣府消費者委員会委員、②江花弁護士、③柴田新潟大学教育学部長教授、④高杉新潟県消費者協会事務局長、⑤田中新潟県民生活環

境部消費者行政課長、⑥俣倉新潟県中央工業家庭科教諭、から、それぞれ実践的な取り組みの報告とこれからの消費者教育について、シンポジウム参加者からの発言も含め熱い討論が行われました。

とりわけ、会場から、「消費者教育に至らない生活者が存在し、現代社会の負の連鎖で生活困窮者に対する対応が急務ではないか」との鋭い発言もあり、今後に課題を残しつつも大変有意義な集会となりました。



消費者問題シンポジウム in 新潟 これからの消費者 教育を考えよう

8月19日(土)、新潟東映ホテルにて、内閣府消費者委員会、NPO法人消費者ネットワーク新潟の主催による「消費者問題シンポジウム in 新潟」が、開催され関係団体から86名が参加されました。

このシンポジウムは、これからの消費者教育の進展のため、消費者委員会の委員を交えながら、消費者・関係者が意見交換を行うとともに、知恵を出し合い、今後の取り組みにつなげることを目的として開催されました。

STOP! 長時間労働

連合なんでも

労働相談ダイヤル

相談
無料

秘密
厳守

携帯
スマホ
OK

いこうよ

れんごうに



0120-154-052

日本労働組合総連合会(連合)



日本のフルタイム労働者は、年間平均
2000時間を超えて働いています。

長時間労働やストレスなどが原因で、心やからだの不調になるケースも見られます。
自分や大切な家族を守るためにも、長時間労働を是正し、誰もがいきいきと暮らす
ハッピーライフを実現しましょう。



第27回新潟県勤労者駅伝大会 66千一㌢ 703名が参加



る大工集
団「重川
材木店陸
上部がゲ
スト参戦
していた
だき、実
業団の実
力を目の
当たりに
しまし
た。

9月3日(土) 爽やかな秋の訪れが感じられる中、連合新潟・労協主催の第27回新潟県勤労者駅伝大会が新潟市陸上競技場をスタート・フィニッシュとし信濃川やすらぎ堤緑地(6区間、24.4km)で開催されました。

今大会は、会場の都合で7年ぶりに新潟市陸上競技場をメイン会場として開催されました。参加チームは66チーム(選手・スタッフ総員703名)で前年より8チーム減少しましたが、県下各地から参加し、日頃、鍛えた健脚を競う熱いレースが繰り広げられました。

一本の「タスキ」をつなぐ駅伝。タスキには目に見えない「絆」や「支え合い」が込められ、まさに働く者の団結と連帯を確認できるものとなりました。これからもアスリートから初心者まで、誰もが自由に気軽に参加しやすい大会をめざしタスキをつないでいきます。なお、順位結果の集計で一部不手際があったことをお詫び申し上げます。



〈総合順位〉

優 勝	柏崎市職労	1時間19分13秒
準優勝	TEAM JP労組A	1時間22分01秒
3 位	十日町市役所A	1時間22分58秒
4 位	十日町地域広域事務組合	1時間24分46秒
5 位	コロナスリートクラブ	1時間27分49秒
6 位	新潟市スマイル	1時間28分24秒

〈男女混合順位〉(女性2名以上が実走したチーム)

1 位	胎内にこにこRC-A	1時間29分09秒
2 位	糸魚川市役所駅伝競走部A	1時間33分23秒
3 位	新潟交通マラソン部高速組	1時間35分45秒



いろいろたいへん…



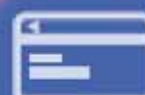
カードローン



ショッピング
リボ



まとめてスッキリ!



キャッシング



ろうきん
おまとめ
ローン

〈ろうきん〉
おまとめローンのメリット

- 毎月の返済額が少なくなる可能性があります。
- 利息を減らすことができる可能性があります。
- 返済の管理が簡単になります。

●ご融資金額は最高**300万円** ●最長**15年**返済
●保証料**0円**(ろうきん負担)



新潟ろうきん

0120-191-880 (平日9:00~17:00)

各地区労福協の総会が開催されました。

< 県 央 地 区 >

県央地区労福協の第6回総会が6月29日(木)、ソレイユ三条で開催され来賓および会員等、28名が参加されました。宮口地区会長から、昨年度に開催したライフプランセミナーやライフサポートセンターの相談件数が200件を超え、地域の存在性を高めつつあること等、報告がありました。来賓には、小林弥彦村村長をはじめ三条・加茂・燕・巻など、行政やNPO、市民活動団体より多数参加いただきました。

2017年度の活動は引き続き、生活に役立つ地域に根差した労福協運動を展開していくこととしています。



< 上 越 地 区 >

上越地区労福協の2017年度総会が7月21日(金)、総合生協上越会館で開催され、役員等13名が参加しました。羽深地区会長から、一年間の総括を行い、次年度も地域に根差した活動を目指したいとの挨拶がありました。早川幹事から、2017年度事業計画、予算、役員選出の提案がありました。特に、昨年開催した自殺対策フォーラムで知り合った、ライフサポートセンターが取り組む各事業を推進して社会全体の福祉向上を共に目指していくとした、事業計画、予算、役員体制を満場一致で承認しました。



最後に、2017年度の活動は引き続き、生活に役立つ地域に根差した労福協運動を展開していくこととしています。

< 新 潟 地 区 >



新潟地区労福協の第27回総会が7月13日(木)、万代シティレンタルルームで開催され、会員等21名が参加されました。石本地区会長から

昨年度に2回開催したワーク&ライフセミナーによって労福協活動が広がりを見せている。今後も地域に根差した活動を目指したいとの挨拶がありました。

川崎事務局長から、2017年度活動方針、予算、役員選出の提案がありました。特に、昨年開催した自殺対策フォーラムで知り合ったNPO団体や市民団体等、との連携を強化し社会全体の福祉向上を共に目指していくとの活動方針を満場一致で承認をされました。

最後に、2017年度の活動は引き続き、生活に役立つ地域に根差した労福協運動を展開していくこととしています。

< 柏 崎 地 区 >

柏崎地区労福協の2017年度総会が7月6日(木)、柏崎市「おい」で会員等19名が参加し開催されました。村山地区会長から、昨年度のライフサポートセンターの相談件数が121件となり、前年より70件増となった。増加した要因は、自殺防止対策シンポジウムやライフプランセミナー・ワーク&ライフセミナーなどの



開催により、ライフサポートセンターの認知度が向上したこと、行政、各団体と共同開催したことにより横の繋がりが生まれ相談件数が増加した等、の報告がありました。

2017年度の活動は引き続き、横の繋がりを強化して生活に役立つ地域に根差した労福協運動を展開していくこととしています。

< 長 岡 地 区 >



長岡地区労福協の2017年度総会が6月23日(金)、長岡市勤労会館で開催され、来賓および会員等、21名が参加されました。

矢島地区会長から、昨年度に開催したライフプランセミナーの成果を受け、ライフサポートセンターの相談件数が416件(昨年415件)となり、存在そのものが地域社会の一員として評価されているとの報告がありました。来賓には、長岡市長(代理:産業政策課長)から出席いただくとともに、会員であるNPO団体より多数参加いただきました。

2017年度の活動は、9月2日開催する「2017にいがた ワーク&ライフフォーラムin長岡」の成功に向けた取り組みを強化すること等、引き続き、生活に役立つ地域に根差した労福協運動を展開していくこととしています。

当 面 の 主 な 活 動 予 定

10月 3日 (火) ロシア代表团来日 ～10日
 中央労福協LSC実務者研修会～4日
 5日 (木) 佐渡地区労福協ライフプランセミナー
 12日 (木) 第214回東部ブロック労福協幹事会
 13日 (金) " "
 21日 (土) 貧困から脱却するためのシンポジウム
 24日 (火) フードバンクにいがた役員会
 27日 (金) 東部労福協第11期リーダー塾修了式
 28日 (土) フードバンクにいがた映画祭
 30日 (月) にいがた協同ネット運営委員会
 消費生活ネットワーク新潟理事会
 11月 1日 (水) 連合新潟定期大会
 3日 (金) 上越地区労福協ライフプランセミナー
 8日 (水) 県労福協事業団体責任者会議
 9日 (木) 地域おこしセミナー (～10日)
 南部ブロック労福協来県交流

11月11日 (土) 生活困窮者全国交流研究大会 (～12日)
 14日 (火) フードバンクにいがた運営委員会
 15日 (水) 第2回創立30周年プロジェクト会議
 15日 (水) 県労福協第116回理事会
 22日 (水) 第63回中央労福協定期総会
 29日 (水) 第215回東部ブロック労福協幹事会
 第52回東部ブロック労福協定期総会
 30日 (木) 東部ブロック労福協役職員研修会
 12月 1日 (金) " "
 4日 (月) 中国黒竜江省代表团来日～9日 (金)
 5日 (火) フードバンクにいがた役員会
 12日 (火) フードバンクにいがた評議員会
 26日 (火) 長岡PS支援調整会議
 1月 5日 (金) 労働団体・友誼団体名刺交換

毎日たべるものだから **新潟県産・国産** にこだわります

KurUCo 新規ご加入キャンペーン

総合生協の宅配

今なら ご加入いただくと **2品プレゼント!**

国産豚挽肉
パラパラミンチ
300g

とうふ家族 (絹)
国産大豆 100% 使用
4個 320g

そして

3週続けてご注文いただくと

1週目の
ご注文で
生協たまご (赤玉)
6個パック
MS-LL 混

2週目の
ご注文で
プレーン
ヨーグルト
ビフィズス
400g

3週目の
ご注文で
生協ホーク
モモスライス
170g

もう3品プレゼント!

※プレゼント商品は内容が変更になることがあります。あらかじめご了承ください。詳しくは総合生協のホームページをご覧ください。

詳しくはホームページをご覧ください。お得な特典があります。

クルコ **検索**

<http://www.niigata.coop>

スマホはこちら